

木材カスケード計画を基軸とする 新たな循環型林業の創造



1 連続と 受け継がれてきた山林

鳥取県の西南端に位置する日南町は、古くから「たたら製鉄」により雇用と所得を確保し、森の恵みを享受しながら、ひとつの時代を築きあげました。「たたら製鉄」の原料である砂鉄は、燃え上がる「たたら炭」のすき間を落下する間に還元され鉄に変わります。「たたら炭」として、その化学変化を司る重要な役割を果たす用材のナラ、クヌ

2 林業を取り巻く現状

ギなどの雑木は、町内の天然林から豊富に供給されてきました。その後、安価な洋鉄にシェアを奪われ、「たたら製鉄」は途絶えましたが、戦後、町内の天然林伐採跡地には、スギ、ヒノキなどが植林され、山林の6割を占める人工林となりました。現在、それらの多くが伐期を迎え、間伐材中心に成される10・6万㎡の搬出は多くの雇用を生み、鳥取県の年間素材生産量の約1/3を占めるに至りました。しかしながら、人口の流出は止まらず、高齢化率も50%を超え、子々孫々へと受け継がれてきた山林の荒廃も散見することとなり、町の主要産業である林業の再編は、猶予のない状況となっています。

3 わが町の 林業成長産業化地域 創出モデル事業

配慮しながら、素材生産量を増大させる林業に取り組んでいます。

また、平成28年から、日南町森林組合(株)オクチ、大建工業(株)と着手した「日南町木材総合カスケード利用検討プロジェクト」では、木材の持つ素材としての可能性を余すことなく引き出すため、未利用部材を次の用途に回して活用するなど、樹冠から根株までの全てをマテリアル(原材料)利用するという理念を掲げ、製材後の端材による合板、苗木ポット、これ以外の用途の開発や伐採、植林技術の開発、人材の育成、付加価値の高い製品の開発を目指しています。



町産材を活用した役場庁舎

約化事業、②ICT技術を活用した循環型林業確立事業、③FSC材・FSC製品流通拡大事業、④森林カスケード新マテリアル開発事業、⑤木造公共施設等整備事業、⑥林業アカデミー整備事業、⑦2000年の森等木育整備事業、以上、7つの重点プロジェクトに着手しています。それぞれの事業概要は、次のとおりです。

①不在村地主等山林集約化事業

山林を町へ寄付いただける山主を募り、適切な森林管理の実現を図るとともに、集約化施策を進め、施業コストの削減を目指す。

②ICT技術を活用した中央中国山地地域モデル循環型林業確立事業

地上レーザ計測、山林3DスキャンといったICT技術の活用を図り、正確な立木の情報(形状・材積・本数)を把握し、精度の高いコスト試算・施業計画を作成する。

③FSC材・FSC製品流通拡大事業

LVL材に不燃ノウハウを融合させ



▲木育のフィールドとなる 200 年の森遊歩道

◀ 10 万㎡を超える木材が集まる木材団地

た製品と市場の拡大が見込まれる LVL 材の防腐防蟻処理材を製品化、FSC 認証材という既存の製品をブラッシュアップし、販路の拡大を図る。

④森林カスケード新マテリアル開発事業

LVL 製造過程で生じる端材や C、D 材を利用した新たな商品開発を実施するとともに、地域熱供給事業の可能性を検証する。

⑤木造公共施設等整備事業

FSC 認証の LVL と CLT を活用したハイブリッド工法など、町産材を有効に活用する新たな建築技術の実証施設を建設する。

⑥林業アカデミー整備事業

林業アカデミーを創設し、産官学連携のもと、林産業が求める即戦力となりうる人材と中国山地に位置する地域の求める人材を育成する。

⑦200 年の森等木育整備事業

樹齢 200 年のスギの巨木林に遊歩道を設置し、木の魅力と自然の力を感じられるような空間を創出するとともに、日南町ならではの「木育プログラム」を策定する。



4 町の課題と 目指す将来像

最近の国内における合板・集成材・木材チップの生産拡大等、木材加工業には明るい兆しのある一方で、林業

の現場では、人工林の皆伐と更新の遅れから、林齢構成の偏りが解消されず、全国的にも大きな課題となっており、本町でも人工林の約 6 割を 8〜11 齢級が占めるという状況となっています。今後、計画的な皆伐再造林を行うことで林齢構成を平準化し、持続可能な林業経営を実現していかなければならないと考えています。

来春開校する「にちなん中国山地林業アカデミー」の校舎も完成し、生徒募集も開始しました。全国初の町営で、全国最大規模の 668 ha の演習林を有する林業アカデミーとして注目を集めています。目指す循環型林業の実現には、新たな担い手の育成は急務です。そんな担い手には、即戦力としてだけでなく、国の森林・林業政策の動向はもちろんのこと、森林の保全、再生、生物多様性など幅広い視野を持つ能力が求められています。大きな転換期を迎えた町の林業で、新林業時代を切り開く挑戦が始まりました。



ミス日本みどりの女神の竹川さんも伐木に挑戦（H30 林業まつり）



林業アカデミーオープンキャンパス



来春の開校を待つ林業アカデミー